

火曜 2 限・ドイツ語中級

■ 授業の目的

高度な文法事項を習得し、読解力や言語運用能力を養成を目指す。

■ < 学習目標 >

すでに学習した初級文法の知識を定着させ、実際の場面に応じた日常会話ができる。読む、聞く、話す、書くの四技能すべてを練習する。

■ < 講義内容 >

市販の教科書は使わず、第一回目にはプリントを用意し、その後は、ホームページからダウンロードしてもらう。

第 1 回 10 月 3 日

ヌスバウムの本の最初の部分を読み、ドイツ語文法の基本的な定冠詞と不定冠詞の確認をした。また、自己紹介で、この授業を積極的に取ろうという人は少なく、大体第二志望か履修登録忘れの人であることを確認した。次回からは、Vitus の Inhalt を読む。以下の資料をダウンロードして 4 ページ目を見ておいてください。

第 2 回 10 月 10 日

今日は、Inhalt の最初の方をゆっくり読んで説明した。そして、映画を 30 分ほどみた。次回は、ベビーシッターとヴィーツスが二人っきりになるところから。Inhalt は、2 段落と 3 段落は終わる予定。その後は、会話が書いてあるところの練習をしてみるつもり。

第 3 回 10 月 17 日

今日は、Inhalt の中段を、これまたゆっくり読んでいった。状態受動の説明をした。また、nicht mehr とか zu 不定詞の副詞的用法といった、説明をした。さらに、eines Nachts が破格であるという話もした。文法とは不思議なものである。ただ、せっかく授業に出てきたのであるから、その時に不明なことがあったら質問してほしい。勉強していないことがばれても、その時、自分の勉強にはなるだろうから。次は Inhalt は終わる。

第 4 回 10 月 24 日

今日は、Inhalt を終えて、映画を 30 分ほどみた。次回は、おじいさんの手紙を読んでみる。映画では、かなり最後の方なので、次回は、その文章を訳してから、その他のいくつかのシーンをもう一度見てみる。

第 5 回 10 月 31 日

今日は、おじいちゃんの手紙を読んだ。かなり詳しく、日本語の「拝啓」や「敬具」にあたるドイツ語のことや、最上級の定冠詞がつく場合と am —sten がつく場合の違いなどの復習をした。あと、an der Nase herumfuehren という熟語がわからないという人もいたが、おそらくこれは辞書に出ていると思うので確認してほしい。次回は、14 頁あたりから読んでいき、一度見た映画のシーンを確認して、聞く練習をしてみる。最後に 20 分ほど映画を見て、どうだったか意見などを聞いてみたい。

第 6 回 11 月 7 日

今日は、Vitus の映画を見ながら、聞く練習や形容詞の単語などについて学んで、映画を最後まで見た。そして、この映画の感想を簡単に書いてもらった。テストでは、おじいちゃんの手紙の部分や、今日のテキストの部分などをだす予定だが、まだはっきりはわからない。1 月になったら、決めたい。以下が、次回の教材。とりあえず、3 ページ目の Inhalt を読む。

第 7 回 11 月 14 日

今日は、サッカーの映画の最初の方の話で、お父さんが帰ってきて、子供たちは違和感をもっていて、マティアスとラーンが電車の中で話をしているというところまで見た。あまりサッカーに関心のない人も、家族の葛藤という観点から見ることができるので、楽しんでほしいと思う。次回は Inhalt の続きを読んだ後、Szenenprotokoll の 1 から読んでいく (6 ページ)。

第 8 回 11 月 21 日

今日は、最初に今後の予定を伝えた。このまま順調に進んでいけば、1 月 16 日に試験をすることになるであろうと話した。また、アディダスのことが書いてあるので、その部分は読んでおこう、ということも話した。また、今後、皆さんがきちんと予習をして、ほとんど説明することもなく、あと 3 回くらいで読むのが終わってしまったら、12 月の終わりとか、1 月の最初の 9 日には、別の映画を見てもいいかなと思っている。

第 9 回 11 月 28 日

今日は、ちょっと急いでテキストを読んだ。それでも、もうだんだん慣れてきたのか、かなりの人がドイツ語を読むことができてるように思われる。アディダスの部分は映画でちょっとだけ出てきた。今日は映画を 30 分鑑賞したが、次回は 20 分にして、できるだけテキストを読むことにしたい。

第 10 回 12 月 5 日

今日は、急がなかったが、案外皆さんがやってきて、きちんと読めていたのと、簡単でもあって、8 ページの 18 まで終わった。次回は、9 頁と 17 頁を読む。次回の次からは二回しかないが、その間に、Im Juli という映画を読むことにした。そのテキストは次回渡す。

第 11 回 12 月 12 日

今日は、「ベルンの奇跡」をすべて読み終え、アディダスのアディ・ダスラーの部分も読み、映画も最後までみた。さらに時間があまっていたので、Im Juli の最初の段落を読み、20 分ほど映画を見た。あと二回ですべてみるのはきついかもしれないが、とりあえず、メレックが歌を歌った部分までみた。

第 12 回 12 月 19 日

今日は、Inhalt の部分を 30 分ほど読み、映画を 40 分ほど見た。ちょうど、監督のアキンが出てきたところまで見た。映画はあと 40 分あるので、読めるところまで読んで、それらをテスト範囲としたい。しかし、この授業についてきてくれた学生さんたちは、この程度のドイツ語だとスラスラ読めているような印象を受ける。そこまでできれば、あとは自分で伸ばしていくことができるのではないかと思う。出席人数がとても多いため、議論などはできないが、とりあえず、読んだドイツ語が映画で確認でき、少しでもドイツ語が分かったという感覚を感じてもらえたらと思う。

Im Juli